

取扱説明書

保管用

日立H I D灯器具

街 路 灯

HITACHI

Inspire the Next

この取扱説明書は街路灯と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■街路灯

製品名	使用ランプ	適合アーム1灯用
MG401K	水銀ランプ H(F)200X、H(F)250X、H(F)300X、H(F)400X 高圧ナトリウムランプ NH180(F)・L、NH220(F)・L、NH270(F)・L NH360(F)・L メタルハライドランプ M(F)250・L/U-A、M(F)300・L/U-A、M(F)400・L/U-A	MGA00K

このたびは日立H I D街路灯をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。おもとの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

適合ランプについて・・・器具としては上記ランプが適合しますが、ご使用にあたっては安定器に適合するものをお選びください。

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。〔施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。〕

施工説明

工事店様へ・・・ 施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みの上正しく施工してください。
取付工事のあと、必ずお客様へお渡しください。

▲ 安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

▲ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは、本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因となります。
- 電源線接続の際は、取扱説明書に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。
- 器具と被照射面との距離は1m以上離してご使用ください。照射距離が指定よりも近すぎると、被照射物の変質、変色、火災の原因となります。
- この器具は防水形の器具です。専用アーム以外で取り付けしないでください。専用アーム意外で取り付けると防水性が損なわれ、火災・感電の原因となります。



取り付け

- アース工事は電気設備の技術基準に従い確実におこなってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

〔D種（第三種）接地工事〕



- 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。落下、感電、火災等の原因となります。



- この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用しないでください。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具の落下の原因となります。
- この器具は、海上や海に直接面した重塩害地域では使用しないでください。又海に近い塩害を受ける地域でも使用しないでください。
- この器具は、海岸に近い塩害地区には使用できません。早期の錆発生、落下の原因となります。



使用環境

- この器具は、激しい振動・衝撃の加わる可能性のある場所、常時振動のある場所では使用しないでください。絶縁不良、器具落下の原因となります。
- この器具は、防湿形ではありませんので、湿気の多い場所には使用しないでください。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。

▲ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う危険が想定される場合および物的損害の想定される内容を示します。

- 器具（安定器、ランプ）の定格電圧（定格±6%）；使用地域の周波数は、器具の取り付けの際に必ずご確認ください。間違って使用しますと、安定器、ランプ等の短寿命、火災の原因となります。
- 周囲温度が、35℃を越える場所では使用しないでください。点灯不良、火災の原因となります。
- 風速6.0m/秒を越える場所では使用しないでください。落下の原因となります。
- 器具に1mを越える雪が積もる恐れのある場所では使用しないでください。そのまま使用されますと落下の原因となります。（使用する場合は必ず除雪を行ってください。）
- ランプ及び安定器は必ず指定のものをご使用ください。不点灯やランプ短寿命の原因となります。

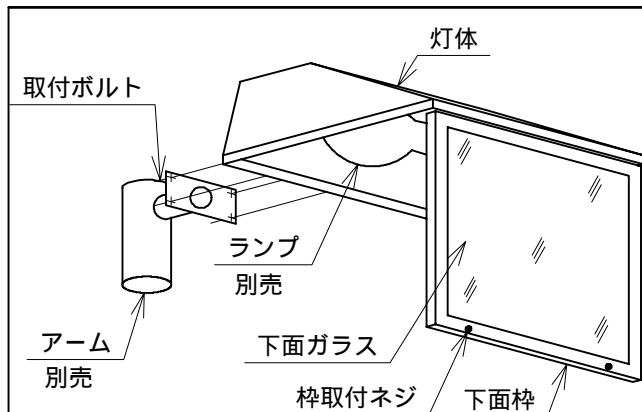


使用環境

- 器具の取り付けには方向性があります。本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。指定以外の取り付けを行うと絶縁不良、感電、部品の焼損の原因となります。

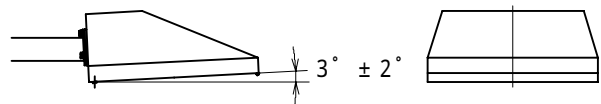


■ 各部のなまえ



■ 器具取付方向

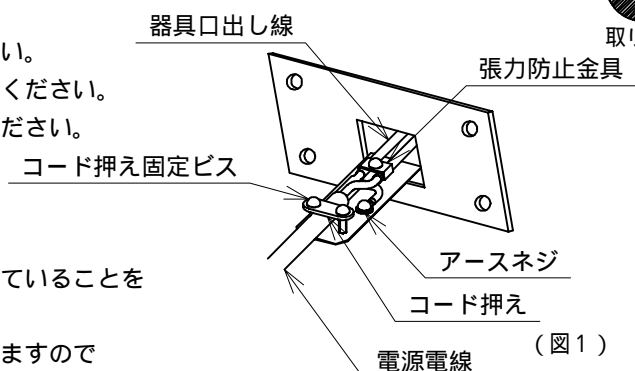
器具の取付方向は下記の範囲内でご使用ください。



■ 器具の取り付けかた

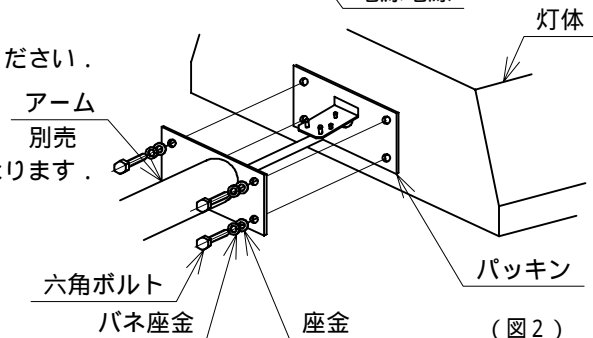
1. 電源電線（現場手配）を器具口出し線と結線してください。（図1）

- 電源電線は安定器二次側の口出し線を延長するコードです。（3芯 □ 2）口出し線はポール、アームを通す必要があります。
- アースネジを用いて必ずアースを確実に行ってください。
- 配線加工時電源電線に無理な張力が掛からぬようにしてください。
- 配線加工後電源電線をコード押えでしっかり固定してください。



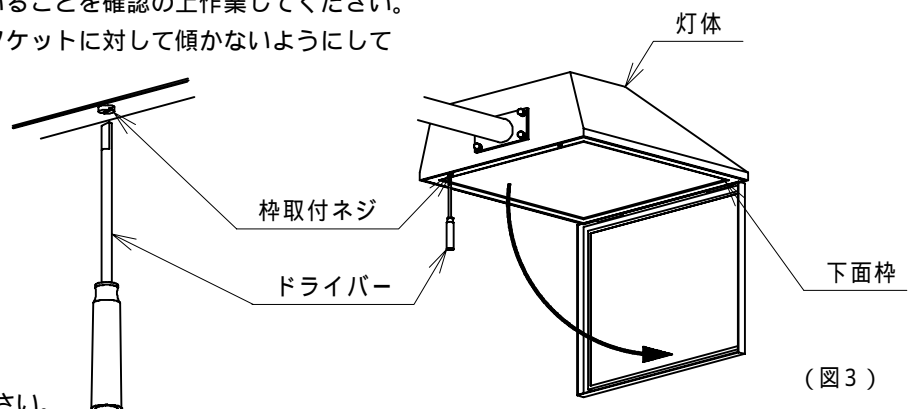
2. 器具と適合アームを確認してください。（前頁参照）

- 器具にパッキンが取付けてあります。正常な位置に付いていることを確認してください。
- 器具に六角ボルト、パネ座金、座金が仮取付けしてありますので外してご使用ください。
- 器具をアームに座金、パネ座金、六角ボルトにて取付けください。（図2）
六角ボルトは確實、強固に締め付けてください。
落下事故、防水不良による絶縁不良、感電事故の原因となります。



3. ランプを組付けてください。（図3）

- 下面枠の枠取付ネジを - ドライバーにて緩めてください。
- 下面枠に手をそえてゆっくりと開けてください。
急に開けると器具の破損、または枠取付ネジの落下の原因となります。
- ソケットにランプを組付けてください。
指定ランプと使用安定器が合っていることを確認の上作業してください。
またランプ取付けの際はランプがソケットに対して傾かないようにして完全にねじ込んでください。



4. 3と逆の手順で下面枠を組付けてください。

枠取付ネジは確実に締め付けてください。締め付けが不完全ですと防水不良による絶縁不良、感電事故の原因となります。

5. ポールに器具を組付けたアームを確実に組付けてください。

組み付けが不完全ですと落下事故の原因となります。

■ ランプ交換

ランプ交換の際は下記の手順にて作業してください。

ランプ交換の際は、必ず電源スイッチを切ってください。

消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく（２０分～３０分程度）
時間をおいてから作業を行ってください。

下面枠の取付けネジを緩めて下面枠を開けてください。

ランプを交換してください。

（交換用ランプが指定のランプであることを確認の上作業してください。）

取付けの際はランプがソケットに対して傾かないようにして完全にねじ込んでください。

作業が終了しましたら、下面枠を持ち上げるようにして、取付けネジを締め付けてください。



取り付け

■ お手入れのしかた

器具お手入れの際は、必ず電源スイッチを切ってください。

消灯直後は器具やランプが高温となっていますので、しばらく（２０～３０分程度）時間をおいてからお手入れを行ってください。

器具の外面やグローブの内外面の汚れは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。器具内のソケットや安定器などの電気部品に水滴がつかないように十分注意してください。

ランプや器具内の反射板は、乾いたやわらかい布で拭いてください。ランプは、ソケットからはずして清掃してください。ホースなどで直接器具に水をかけないでください。また、モップやデッキブラシなどを用いた清掃を行わないでください。器具内への浸水や器具の破損の原因となります。



取扱説明

お客様へ・・・ お読みにになったあとも大切に保存し、必要なときにお役立てください。

- このたびは日立H I D器具をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●本文中に使われる
" 図記号 " の意味は
次の通りです。

 禁止	 接触 禁止	 分解 禁止	 水場での使用 禁止	 指示を 守る	 アース を取り 付ける
--	--	--	--	---	---

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに
結びつく可能性があるもの

	器具の改造や指定部品以外の交換はしないでください。 (火災・感電・落下の原因)		ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。電源を入れた ままだと、ソケットにはランプ始動のため高電圧パルスが発生してありま す。 (感電・落下の原因)
	器具の隙間や放熱穴に金属類を差し込まないでください。 (火災・感電・落下の原因)		ランプ交換などにより光源筒・ランプ等を外し再度取り付ける場合には、 取扱説明書に従ってください。取り付けに不備があると水、水気の侵 入の原因となります。 (絶縁不良・感電の原因)
	器具表示の指定ワット (W) 数を越えるランプは使用しないでください。 (加熱して火災の原因)		被照射面は高温になります。被照射面との距離は指定の間隔を確保してく ださい。 (火災の原因)
	器具 (内部) ・ランプを水洗いしないでください。 (火災・感電の原因)		
	煙が出たり変な臭いがしたらすぐに電源スイッチを切ってください。 (火災の原因)		

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または
家屋・家財などの損害に結びつくもの

	点灯中及び消灯直後はランプ及び器具は高温となっておりますので、 手を触れないでください。 (やけどの原因)		ランプはソケットに確実に取り付けてください。 (落下の原因)
	点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたりランプを直視しな いでください。(H I Dランプ) (皮膚炎症や高照度のため目を痛める原因)		高圧ナトリウムランプ・メタルハライドランプ・H Q I ランプが点滅を繰 り返したり、正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換し てください。 (火災の原因)
	ランプは落したり、物をぶついたり、無理な力をくわえないでください。 (破損してけがの原因)		■明るく安全にご使用頂くため定期的 (半年に 1 回以上) に清掃・保守・ 点検を行ってください。 ■ 3 ～ 5 年に 1 回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき 不具合がありましたら交換してください。
	ランプの外管バルブが割れた場合電源を切り、ランプを交換してください。 (紫外線による障害や、破損・落下 によりけがの原因)		

お願い

- お手入れなどでランプをはずし、再度取り付ける場合は取扱説明書の「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
- みがき粉やたわし・ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤・熱湯などをかけないでください。また、化学ぞうきんを使用する場合は、その注意
書にしたがってください。
- ランプが汚れた場合は、アルコールを浸したきれいな布でふき取ってください。
- 反射板の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れがつくと反射効率が低下します。
- ガラス部分は正しい扱いにしてください。また艶消しガラス・鏡面仕上げの反射板は必ずきれいな手袋を着用して扱ってください。素手 (汚れた手) で
さわると手の跡や汚れがとれにくくなります。

アフターサービス・・・ ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記の
ところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。